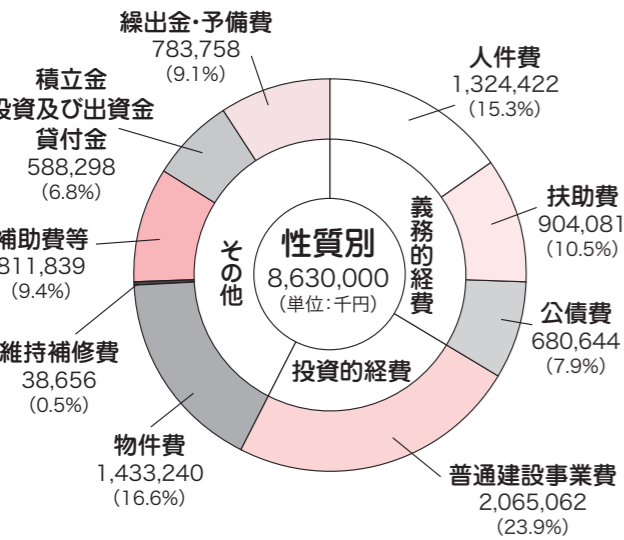
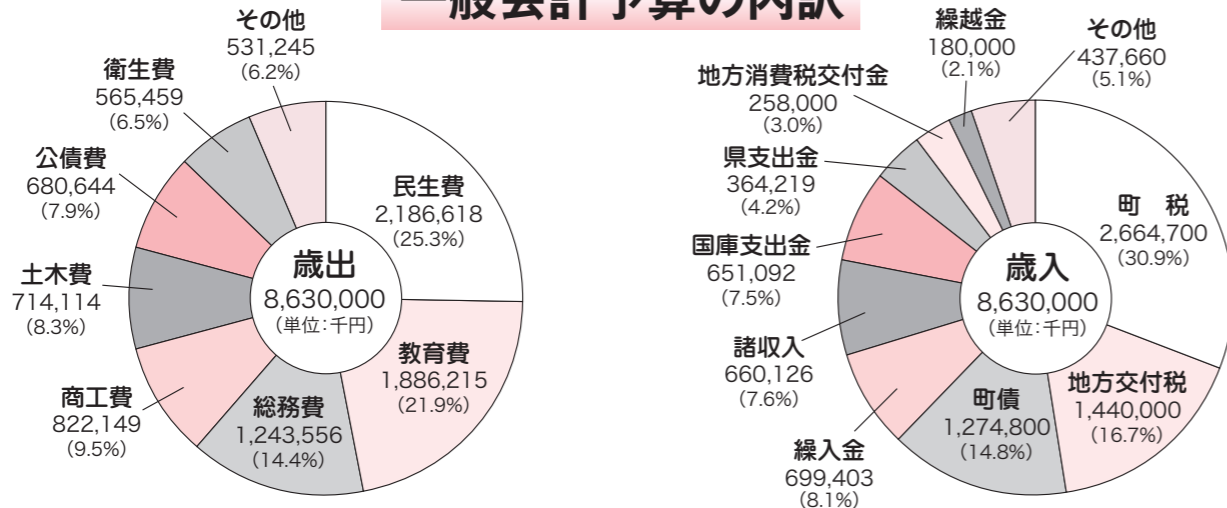


一般会計予算の内訳



●性質別内訳のワンポイント解説

性質別内訳は、歳出について同じような使われ方がするものを分類したものです。

- 人件費** 特別職や職員の給料、議員の報酬などに使われるお金
- 補助費** 法によって義務付けされている福祉や医療の費用として給付されるお金など
- 公債費** 町債（借入金）の返済に充てられるお金
- 普通建設事業費** 施設建設、道路や公園などの整備に充てられるお金
- 物件費** 消耗品、光熱水費、備品購入、事業の委託費などに充てられるお金
- 補助費等** 各種の補助金や負担金として使われるお金
- 貸付金** 商工業振興の制度融資などに活用されるお金
- 繰入金** 一般会計から特別会計に繰り出されるお金

平成二十六年年度一般会計の予算は、八十六億三千万円となり、私が町長就任以来もっとも大型の積極型予算となりました。とはいえ徹底した経常経費の削減による行財政運営の健全性を確保しつつ、中長期的視野に立つ「行財政経営プラン」に沿った「行財政経営プラン」に沿った基金を有効に活用し、将来世代に対する負担をなるべく残さぬよう起債（借金）を圧縮したうえで、一年間を通して寄せられた皆様からの要望に出来るだけ応え、住民に寄り添った暖かみのある予算となるよう心がけました。

新年度予算は、「まちづくりの三つの指針」として、「誰もが健康で安心して安全に暮らせるまちづくりを進める」「地域の資源や人の力を活かし、住んでいることに誇りが持てる町を創る」「計画的で効率的な行財政運営を行い、持続可能な自治体を構築する」を掲げ編成にあたりました。

更なる飛躍の年をめざして

下諏訪町長 青木 悟

速に少子高齢化が進む当町ですが、お年寄りが健康で生き甲斐を持って生活する事ができ、子どもたちがのびのびと健全に育つ、そんな環境整備を更に進めてまいります。湖畔の環境を活かした「健康スポーツゾーン構想」の核施設となる、高浜健康温泉センター「ゆたんぽ」は四月末にはオープンしますが、多くの皆さんに愛され、ご利用いただけるよう運営してまいります。子どもはこの町の「宝」、子育てふれあいセンター「ぽけっと」を中心に各種子育て支援策を充実し、生み育てやすい環境の整備に努めます。

地域の活力は、多くの人の参加参画によって育まれます。お陰様で多くの地域の「宝」が発掘され、再生され始めました。

まちづくりに向け大きな事業が進む平成二十六年年度、夢と希望溢れる未来に向け、この町から元気と魅力を発信し、更に大きく飛躍する年にしてまいります。更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

南小学校改築、赤砂崎公園整備事業、庁舎耐震改修の着実な進展と高齢者や子育て世帯、教育環境、健康などに配慮した事業の拡充

予算案の主な施策内容

- ① 安心・安全のまちづくり**
赤砂崎公園の整備、南小学校改築、庁舎耐震改修など
- ② 地域活性化まちづくり事業の推進**
商工業・観光振興の推進、臨時福祉給付金給付事業、生活応援商品券事業など
- ③ 地域で育てる子ども支援策の推進**
保育所管理運営の拡充、学童クラブ備品の更新、学校教育環境の整備、子育て世帯臨時特別給付金給付事業など
- ④ 環境・福祉施策の充実**
疾病予防・健康づくりの推進、障害者・高齢者への福祉施策の充実、町内循環バスの充実、高浜健康温泉センターの管理運営、焼却施設補修、道路維持補修・新設改良など
- ⑤ 行政改革の推進**
人事管理システムの導入、番号制度導入に係るシステム改修など

平成二十六年年度予算は、最終年となる南小学校の改築（校舎棟第二期工事、プール・学童クラブ棟改築工事）、本格化する庁舎の耐震改修、継続の赤砂崎公園の施設整備に加え、新たに、町道東山田町線道路改良事業や町道東赤砂通り線ジョギングロードの新設などや、消費税増税による影響もあり、平成九年年度の八十九億七千二百万円に次ぐ過去二番目となる積極型予算となりました。

住民要望の多い施設修繕・施設整備、道路維持補修などのハード事業と、高齢者や子育て世帯、教育環境などに配慮したソフト事業を拡充しながら、健康スポーツゾーンを中心とした健康づくりや環境面にも着目し、町民の皆さまに寄り添った温かみのある事業を更に推進します。また、消費税増税に伴い、駆け込み需要や生活費の圧迫により、消費者の購買意欲の低下が懸念されることから、町としても経済対策に取り組みでまいります。皆さまからお預かりした貴重な税金を有効に活用し、町内にある多くの「宝」を活かし個性豊かで活力あるまち、地域力を高め「絆」と「支え合い」による人に優しいまちを目指し、住民と行政が対等な立場で協力し合う協働のまちづくりを進めてまいります。

●二十六年度予算の概要についてお知らせいたします。

一般会計予算は過去二番目の積極型予算

会計別予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	86億3,000万円	7.1%
国民健康保険特別会計	23億9,520万円	4.5%
駐車場事業特別会計	770万円	△6.1%
後期高齢者医療特別会計	3億2,170万円	10.8%
交通災害共済事業特別会計	1,150万円	△1.7%
温泉事業特別会計	3億8,560万円	10.3%
特別養護老人ホーム事業特別会計	2億5,880万円	△6.3%
東山田財産区会計	150万円	66.7%
水道事業会計	収益的支出 2億7,900万円 資本的支出 1億7,410万円	3.2% △40.2%
下水道事業会計	収益的支出 6億4,720万円 資本的支出 4億3,480万円	H26年から 企業会計へ移行

【会計区分】

「一般会計」は、町が行う事業の大部分を占める会計で、支出には皆さまから納めていただく町税や地方交付税などを主な財源としています。これに対し、「特別会計」は、特定の事業を行うために設けられた会計で、支出を保険料や使用料などの収入（財源）で賄っています。

また、事業によって得る収入で支出を賄う独立採算型の会計を「公営企業会計」と呼び、当町では水道事業会計と下水道事業会計がこれにあたります。